

9月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム

パシフィックメルティングポット イースタン・コネクション
 ～レジヌ・ショピノ『PACIFIKMELTINGPOT』、Eastern Connection滞在制作～

9月に城崎国際アートセンターで予定している、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

1 レジヌ・ショピノ ^{パシフィックメルティングポット} 『PACIFIKMELTINGPOT』滞在制作

(1) 滞在制作

ア 期間

平成27年9月2日（水）～16日（水）

イ 内容・特色

- (ア) 太平洋諸地域のアーティストや研究者がレジヌ・ショピノのカンパニーとともに展開する『PACIFIKMELTINGPOT』プロジェクト。
- (イ) 振付・構成のレジヌ・ショピノは、フランス国立振付センターの芸術監督を務める、フランスコンテンポラリーダンス界のスターとも言える存在。
- (ウ) これまで日本やニュージーランド、ニューカレドニアで、口承のうちにある時間性など、オルタナティブなアートの力を探求してきた。
- (エ) 2011年よりリサーチとプレゼンテーションを繰り返してきたこの試みが、2015年、日本での滞在研究と制作（大阪大学、城崎国際アートセンター）を経て、いよいよ作品へと結実。
- (オ) 城崎での滞在制作後、ダンスボックス（神戸）、鳥の劇場（鳥取）で公演を行う。



※『PACIFIKMELTINGPOT』これまでのリサーチ・プレゼンテーションの様子

(2) 地域還元プログラム

レジーヌ・ショピノ「PACIFIKMELTINGPOT」滞在制作 成果発表上演&トーク

ア 日時

平成 27 年 9 月 13 日（日）午前 11 時～
9 月 14 日（月）午前 11 時～

イ 場所

城崎国際アートセンター

ウ 内容

- (ア) 城崎で行った滞在制作の成果発表として、上演を行う。
- (イ) 滞在制作や、これまでの作品について紹介するトークも行う。

エ 参加費

無料

オ 一時保育

申込みは、9月4日（金）までに城崎国際アートセンターへ電話

カ 申込み

電話またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、連絡先が必要）
要予約

〔申込先〕城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付 9:00～17:00 火曜休館）

e-mail info@kiac.jp

(3) 作・演出等

ア	構成・振付	Régine Chopinot
イ	音 響	Nicolas Barillot
ウ	照明・美術	岩村原太
エ	衣 装	川口知美
オ	写真・映像	Jean-Baptiste Warluzel
カ	出 演	Mere Boynton, 古川友紀, Drengène Hnamano, Julie Nanai-Williams, 那須誠, Tai Paitai, Ixepe Shihaze, 富田大介, Epiatrë Wawine（アルファベット順）
キ	パーカッション	Francesco Escalante Vargas
ク	マネージメント	西尾祥子
ケ	コーディネート	富田大介
コ	主 催	大阪大学大学院国際公共政策研究科 稲盛財団寄附講座
サ	共 催	城崎国際アートセンター
シ	協 力	追手門学院大学
ス	制作協力	Cornucopiae、（株）システム

イースタン・コネクション
2 Eastern Connection 滞在制作

(1) 滞在制作

ア 期間

平成 27 年 9 月 17 日 (木) ～ 9 月 28 日 (月)

イ 内容・特色

- イースタン コネクション
- (ア) Eastern Connection は、ルーマニア人の振付家コスミン・マノレスクのもとにアーティスト、プロデューサー、ダンス・ライターらが集い、2013 年にスタートしたコンテンポラリーダンスの日本・ルーマニア協働プロジェクト。
- (イ) 昨年 (2014 年) 城崎国際アートセンターに滞在し、コスミンと京都在住のダンサー山下残らが協働し、グループ・リサーチを中心とした創作を行った。
- (ウ) 今年もコスミンと山下を中心とした滞在制作を行い、11 月にルーマニア・ブカレストで上演予定の新作『The Kite』の制作を行う。



© Eastern Connection 2013



© Eastern Connection 2013

(2) 地域還元プログラム

コスミン・マノレスク ダンス・ワークショップ

パフォーミング ジェア / パフォーミング ザ ボディ
『Performing the Air / Performing the body』

ア 日時

平成 27 年 9 月 19 日 (土)	午後 4 時 ～ 6 時	【第 1 回】
20 日 (日)	午前 11 時～ 1 時	【第 2 回】
23 日 (水・祝)	午後 2 時 ～ 5 時	【第 3 回】

イ 場所

城崎国際アートセンター

ウ 内容

- (ア) 2014 年から 2015 年にかけて、東京、ラトビア、ルクセンブルク、ポルトガル、ルーマニアなど、各国で国際的な成功を収めてきたワークショップのシリーズ。
- (イ) 様々なダンス技法やマッサージ手法、目を閉じた状態で行うダンスなどを通してクリエイティブなワークショップ。

エ 参加費

無料

オ 一時保育

申込みは、9月11日（金）までに城崎国際アートセンターへ電話

カ 申込み

電話またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、日程、連絡先が必要）

要予約

〔申込先〕 城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付 9:00～17:00 火曜休館）

e-mail info@kiac.jp

〈プロフィール〉

1 レジヌ・ショピノ (Régine Chopinot)

フランスでのヌーヴェルダンスの創成から発展に深く関わり、1986年より国立振付センターの芸術監督を務める。その間、ジャン=ポール・ゴルティエやアンディー・ゴールズワージー、ジャン=ミッシェル・ブリュイエールらと長期にわたるコラボレーションを行い、コンテンポラリーダンスを服飾や美術、思想など現代のさまざまなフィールドへと解き放った。近年では、踊りを大自然のリズムや諸要素から再検討し、ヨガをはじめとする古代からの複合的な身体の学と実践に力を注いでいる。2008年、自身の独立カンパニー ^{コルヌコピアエ} Cornucopiaeを創設。

2 コスミン マノレスク (Cosmin Manolescu)

1970年生まれ。ガブリエラ・テュードル財団のディレクターのほか、ルーマニアのアーティスト・イン・レジデンスのネットワークを繋ぐ「ArtistNe(s)t Network of Artist-in-Residence Centres in Romania」のディレクター、東欧唯一の国立のコンテンポラリーダンスセンターであるルーマニア国立ダンスセンターの創設者、独立セクター連合メンバー、キュレーター・マネージャーとしても広く知られる。ヨーロッパを中心にコンテンポラリーダンス界の幅広いネットワークを構築し、ルーマニア、バルカン地域のコンテンポラリーダンスシーンを牽引するなど、精力的に活動

3 山下 残 (Zan Yamashita)

振付家・演出家。1970年大阪府生まれ、京都市在住。主な作品は、「そこに書いてある」の他、スクリーンに映写される（すう・はく）の呼吸の記号と俳句から引用されたテキストを身体とあわせて見る「せきをしてひとり」、本物の線路の上で断片から成る世界の事象をつぶやく「大行進」、捨てられたゴミを用いて繰り広げるコミュニケーションのネットワーク「庭みたいなもの」等。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888